

THE ROTARY CLUB OF CHOSHI

銚子ロータリークラブ会報

国際ロータリー第2790地区

創立 昭和32年3月23日

RI承認 昭和32年4月15日

会長 松本 恭一

副会長 金島 弘

幹事 小林 昭弘

会計 金子 芳則

2017-2018年度 RIテーマ

ロータリー：変化をもたらす

ROTARY: MAKING A DIFFERENCE

2017-2018 RI会長 イアンH.S. ライズリー

Rotary



例会日時 毎週水曜 12:30~

例会場 銚子商工会館5階大会議室

事務所 銚子市三軒町19-4

銚子商工会館4階

電話 0479-23-0750

ファクス 0479-25-8789

E-mail rotary@choshinet.or.jp

URL <http://www.tcs-net.ne.jp/~crc>

第2988号 (2018年4月11日発行)

今週のプログラム

「お花見移動例会」猿田神社 社務所

前回例会報告(4月4日)

点鐘:松本 恭一 会長

国歌君が代斉唱 ロータリーソング:奉仕の理想

四つのテスト唱和 ビジターなし

会長挨拶



今日は東京では夏日、この春は全国的に記録的な暑さです。もう忘れてしまいましたが、冬は記録的な低温でした。最近は、記録的・何十年ぶりという語が気候に対し頻繁に使われます。これから梅雨の大雨、蒸し暑い夏、秋の台風と続きますが、ほど

ほどの天候になることを願います。29日(木)駅前花壇の花の植え替えを三崎園さんのご協力で行いました。お蔭さまで大変綺麗になりましたので、駅方面に行かれた時ご覧になって下さい。25日(日)には PETS(会長エレクト研修セミナー)に高橋次年度ガバナー補佐、金島次年度会長が出席されました。次年度もいよいよ動き出しました。

4月、いわゆる新年度に入りましたので「年度」についてお話をさせていただきます。「年」とは1~12月までですが、「年度」とはそれとは別に特定の目的の為に規定した1年間の区切りです。代表的なものに、国・自治体の「会計年度」、学校の「学校年度」、企業の「事業年度」があります。ロータリーにも「ロータリー年度」があり7~6月です。まず会計年度ですが、明治19年(1886年)より4月が年度始めになりました。当時の主産業は農業(お米)であり、秋に収穫し現金に換えてから納税します。それを

元にお役所が予算編成すると年度の始まりは4月頃が好都合になります。又、当時世界一の経済力を誇った英国が4月始まりだったこともあり、日本も4月が年度始まりになりました。学校年度は、昭和に入ってからすべての学校で4月になったようです。江戸時代の寺子屋、明治初期の学校は、個人能力に差があるため入学進級が一斉という概念がありませんでした。それから大学が出来てくると、入学進級を一斉にと考えるようになります。一時9月新年度になった時期もありましたが、会計年度と統一するように国が指導した為、4月新年度になりました。会社の事業年度は、世界標準では12月決算1月年度始まりです。日本では会計年度に合せ上場企業の68%(2015年12月末)が3月決算です。しかし海外展開をしている会社は海外の決算に合わせて、12月決算1月年度スタートが増えてきています。2015年は2年前より12月決算の会社が2割増加しました。従いまして、日本の年度は桜が咲くから4月スタートではなく、元々は米の収穫が秋であった為ということになります。そして、会計年度と学校年度が全く一致、会社の事業年度もほぼ一致しているという世界でも珍しい国なのです。桜の咲く4月に年度スタートというには、日本人の心情に非常に合っていると思います。こればかりは、世界標準に変えてほしくないですね。

第10回定例理事会報告

- 1) 4月5月6月プログラムの件 …承認
- 2) 親睦旅行の件 …承認
- 3) 新入会員歓迎会の件 …承認
- 4) 新旧クラブ協議会の件 …継続審議
- 5) 18-19年度RI理事指名委員会指名委員承認の件 …承認
- 6) 3000回記念例会の件 …承認 7/8(日)太陽の里

幹事報告【週報拝受】銚子東RC、館山RC

- 1. 2018-19年度クラブ役員の報告・確認について …国際ロータリー



ロータリー
変化をもたらす

第2790地区
ガバナー 寺嶋 哲生 (柏RC)

広報・会報委員会 委員長 副島 賢治
副委員長 遠山 靖士 委員 大岩 将道

2. 例会場変更のお知らせ(松戸中央 RC、松戸西 RC)
3. 2018-19 年度 RI 理事指名委員会指名委員承認の件
4. RLI 卒後コース開催のご案内
5. 寄付に関するお願い
6. 財団室 NEWS 2018 年 4 月号
7. RID2700 より書籍のご紹介
8. 母子の健康月間リソースのご案内
…ガバナー事務所
9. 地区協委員会のご登録について
10. 地区研修協議会について
…ガバナーエレクト事務所
11. 台湾東部義捐金お預かりのご報告
…ガバナー会事務局
12. 合同部会の開催について
…銚子市国際交流協会

【例会変更】

小見川RC

4月4日(水)分区親睦G大会 合同懇親会

25日(水)振替休会 22, 23日懇親旅行のため旭RC

4月24日(火)夜間例会 八日市場RCと合同
点鐘6時30分

27日(金)振替休会 24日合同例会へ振替
成田空港南RC

4月12日(木)夜間例会 東金RCと合同例会
点鐘18時

19日(木)休会

会員の記念日

誕生日おめでとうございます。

青野 秀樹会員(3月30日)

宮内 秀章会員(4月2日)

淵岡 彰介会員(4月2日)

☆結婚記念日 高瀬 幸雄会員(3月29日)

☆入会記念日 丸山 泰典会員(4月3日)

☆創業記念日

青野 秀樹会員(3月30日)

櫻井 公恵会員(3月30日)

大里 忠弘会員(3月31日)

神津 裕之会員(4月1日)

木曾 功会員(4月1日)

ニコニコBOX

◇伊藤 浩一会員(☺)①2月3日と続けて2人の娘に男の孫が誕生しました。孫の数が男4人 女3人計7人となりました。今迄の女系家族が男系に変わったようです。②3月31日に二女 柳澤真智子が出産後、1ヵ月で犬吠埼ホテルのディナーショーでフルートを演奏しました。多くの会員関係者にご出席戴き有難うございました。

◇淵岡 彰介会員(☺)4月2日に大台替りしましたので上乘せしたいと思います。

卓 話 「新入会員卓話」 淵岡 彰介会員



本日は卓話の機会を頂きましてありがとうございます。少しでも私をご理解頂き、これからの活動を通じて親交を深めて頂きたいと思っています。現在いるヤマサ醤油に入る以前の30数年の銀行員時代を振り返り、私の人間性や考え方に大きな

影響があった出来事や出会いを軸にお話をしたいと思います。

入会挨拶で申し上げましたが、大学卒業後に就職した富士銀行との縁は、私の母校である慶応義塾の剣道同好会(剣友会)が作ってくれたものです。剣道に関していうと、小学2年生から大学卒業まで継続し武士道精神をはじめ、思春期の私に大きな影響を与えたことの一つです。私の就職希望業種は、当時の都市銀行か総合商社であり、中でも、富士銀行は私より8年上の剣友会OBの先輩のおかげで運よく事前のセレクションで残り、会社訪問日の翌日には内々定をもらいました。同期入社は140名でした。

最初の配属は、慶応のおひざ元の港区の三田支店、慶応出身者が1名必ず配属される店舗でしたが、慶応の正門から見える場所にあり、当初は妙な感覚でした。その次に三田から近い大店舗の虎ノ門支店へ異動となりました。当時の虎ノ門支店は、所謂鬼軍曹のような課長ばかりで、今でいうパワハラなど日常茶飯事で、正に軍隊みたいな日々を過ごして、仕事が楽しいと思った記憶はありません。そんな支店に何とか3年ほど勤務しましたが、その次の異動で私の人生に影響を与えた出来事が起きました。

それは、スペインの大学への1年間の留学でした。英語圏であるニューヨーク、ロンドン、シンガポール、香港などは大拠点としてそれなりの人材と陣容を構えていましたが、英語圏以外では、デュッセルドルフとパリに拠点はありましたが、その他の地域は手薄な状況であり、マドリードに駐在員事務所があったスペインも同様で、支店開設が悲願であり、そのための人材(要はスペイン語や文化を理解できる人間)養成を行っており、その網に私が引っ掛かったわけです。後々も同じような異動がありましたが、新しい組織や業務を行うポストに異動させられることが多く、人事部の闇魔帳に「淵岡は打たれ強くめげない。挑戦心旺盛」とでも、記載されていたのではないかと考えています。

留学先は、マドリードの北西120kmに位置するバジャドリッドという大学都市で、中世のカスティーリャ王国時の首都であった町で、全世界から留学生が来ているバジャドリッド大学でした。ここで素晴らしいホームステイファミリーに出会い、大学では主として文化や言葉を習いましたが、スペイン人の考え方や人生の捉え方を学んだのはこのファミリーや大学とは別に週4日受けていた美しい家庭教師からでした。留学期間最後の数か月は、富士銀行と親密な関係にあったスペインの大手銀行へトレイニーとして派遣され、支店業務やマドリードにある本部で

OJT研修を受けました。このような経験を経て、心から感じたのは、スペインの人たちは人生を楽しむ達人だなということでした。スペインに来る前は仕事が面白いと思ったことはほとんどなく、「人生考える前にまず仕事」みたいな雰囲気は会社には満ち溢れていましたし、日本国自体の当時の雰囲気がそうであったように思います。そういう折に、スペイン人と深く交わった1年間は、私の人生観に大きな影響を及ぼし、それ以降、仕事はもちろん精一杯やるが、充実した人生とするために如何に仕事に取り組むか、要は思考の出発点が人生を充実させるためにはどうするかに明確に変わったということです。また、「同じ人間でもこんな考え方をするんだ、でも一理も二理もあるよな、日本人の方がむしろ変だよな」というような数多くの体験を通じて、多様性を理解し、受け入れる素養が身についたのではないかと感じています。

帰国後は、八重洲口支店に配属され、外資系企業や輸出入業者を主として担当しました。支店長に恵まれたこともありましたが、人生観が変わったこともあり、公私ともに充実した2年間を過ごし、既に30歳を過ぎていましたが本部勤務の6歳下の理想的な女性と結婚することができました(もちろん今の女房)。そのうち、欧州部という欧州地域の戦略企画、拠点行政、審査・マーケット調査などを行う部の企画係に異動になりました。

私が欧州部に異動になった時点で、欧州部はロンドンへ部全体が移動することが決まっており、欧州部に赴任して3か月後の11月末にはロンドン行の飛行機に乗ることになりましたが、妻がちょうど妊娠をしていた為、大事を取って単身で赴任しましたが、妻が4か月の乳飲み子と一緒にロンドンに来るまでの約1年間は海外に来てまでこんなに働くのかというほど、仕事漬けの日々を過ごしました。部全体がロンドンへ移動したことで、全てが赴任してからの対応となった為、一から全てを検討し決めていかねばならず、その仕事は企画係の私の仕事でした。毎日、0時過ぎまでオフィスにおり、ひどいときは2時ごろまで仕事をしていたのを覚えています。しかもロンドンは年間ですっきり晴れる日が少なく、仕事に疲弊した心身を癒すどころか、追い打ちをかけてくるような環境で、単身であることも併せ、正直、明るい希望を抱いていた気持ちがどこかへすっ飛んでいきましたが、剣道で鍛えた精神力、体力により何とか頑張り、家族を無事に迎えることができました。通勤は地下鉄で40分程度かけてロンドン郊外から通っていましたが、混雑する上に時間通りに来ないのが当たり前。最初は本当にイライラしましたが、世界基準からすれば、日本が異常に優秀なだけで、遅れることを前提に予定を組まなければいけないことを学びました。そんな状況なのに、電車で自分が乗り込む際に自分の前の人やドアのところぎりぎりにいたら、誰も乗らずに、立ち止まる。日本では、まずほとんどの人がもっと詰めの的に押しながら乗り込みますが、私もついやってしまい、会社員風の男性に全く分からない英語でまくしたてられて、ソーリーとしか言えずとにかく謝った記憶があります。英国人は人込みで他人の横をすり抜ける場合は、Excuse meと言って、その人がどかない限りは決して押しのけて通ることはしない。この点は、ひどいときは無言で人を押しのけていくこともある日本とは違い、日本人も基本マナ

ーとして見習うべきだなと思いました。それから、地下鉄のプラットフォーム上の放送が、極めてシンプルというか、一つのことを繰り返し流しているのがほとんど。英語でいうと「Mind The Gap」要は「電車とホームの隙間に気をつけて」ということですが、普通の駅はこれだけ。車内放送もほとんどないので、どう見ても英国人には見えない自分が、車内で電車の行先などをよく質問されました。サービスレベルほんとに低いなどこれまたイラつく要因の一つでしたが、しばらく暮らしてから思ったのは、日本がむしろ過剰サービスだなということでした。その他にもいろいろありましたが、要は海外に相応の期間住んでみると、旅行では体験することのできない異文化の場面に出会うことは多く、自分とは異質なものを理解して受容していくようになりまし、多様性を理解し順応していける素養をその後のスペイン生活も含めてブラッシュアップできたと思っています。

ロンドンで3年生活した後、海を挟んだ隣国のスペインへ赴任し4年間を過ごしました。2度目のスペイン、しかも大好きな国であるので大変うれしかったです。マドリード支店では、2代目の営業課長を務め、公私ともに充実した時を過ごしました。仕事は順調、部下6人は全てスペイン人、部下の結婚披露宴、部下の親の葬式など、なかなか体験できないことも経験でき、スペイン人のメンタリティーに深く触れることができました。ただ、スペイン滞在中で一番大きな影響を受けたのは妻で、向こうで始めたフラメンコで今では趣味の域を超え、お金を頂くまでになり、彼女にとってはその後の人生に大きな影響を与えたスペイン滞在中でした。

約7年の欧州滞在中、1997年に帰国しましたが、帰国後に私を待っていたのが、社会を騒がせた「山一証券問題」でした。富士銀行は、当時4大証券の一社であった山一証券のメインバンクでしたが、山一証券は、私の帰国前から不穏なうわさが飛んでおり、メインの富士銀行としてもその管理を強化する必要があり、審査担当部で山一担当参事役としての仕事を与えられました。当初は日々のリスク管理全般を行っていましたが、ある日、当時の社長が富士銀行の経営陣に対して予てからあった“飛ばし”の存在を明らかにしたため、その時からまた地獄の日々が始まりました。とんでもない金額の簿外損失が発覚したので、銀行全体を挙げての大騒ぎとなり、ロンドンの赴任当初の状況よりさらにひどく、連日連夜2、3時間の睡眠時間に対応、毎日タクシーで帰り、シャワーを浴びてちょっと寝て、またタクシーで出社するという日々でしたが、あのXデーが到来しました。「山一証券の自主廃業」です。最終的には日銀特融が実行され山一の顧客は保護されました。激動の日々でしたが、山一証券という巨大企業が崩れ去っていく過程に関与し、その陰では罪のない山一の社員が経験した悲しい現実も見聞き、複雑な心境でした。この心身ともにしんどい1年半をどうにか乗り切ったこともあり、剣道で鍛えられた精神力と体力に胆力が加わり、その後の人生に役立っています。

そのうち企業コンサルティングを行う新ビジネス立ち上げ部署に配属され、銀行内でそのビジネスモデルの理解を得るのが大変でした。その後、やはり当時の日本ではまだ草創期にあったマネジメントバイアウトという企

業買収に関するビジネスを担当する本部に異動しました。買収資金の融資案件は、審査部の理解を得るのが本当に難しく、案件の共同組成者であるファンドと審査部のはざまに立って、常に胃がきりきりと痛む状況に置かれていましたが、大変やりがいのある仕事でした。これまた寝不足は日常茶飯事でしたが、これを乗り切ったおかげで胆力が更に強化されたと思います。

この企業買収ビジネス担当部在籍中に現在のみずほ銀行となる3行の統合が起きました。3行が対等合併であった結果、大きな負の内向きの力が銀行内には長く存在しました。要は勢力争いです。生産性の無い内向きの争いに勢力を注ぐことにつづく嫌気がさしていた折に、支店長職へ転出することになり、天に救われた気分になりました。

支店長には同期で二人目になったこともありまだ若く、加えて鬱積した状況から解放されたこともあり、やる気に満ち溢れていました。場所は、群馬県の高崎でしたが、私は40台前半、オーナーの多くは60台、70台の方々であり、こちらが教えていただくことが圧倒的に多かったです。そのような日々を送っている最中、世間をびっくりさせた「みずほ1兆円増資」の話が持ち上がりました。私にとってはタイミングが悪く、高崎支店長着任から3か月ほどしか経過してない年明け早々でしたが、まず頭に浮かんだのは正直、金額的に実感が全く湧かない1兆円の増資なんてできるのか、銀行がそこまで追い込まれているのかという2点でした。しかし、やるべきことは、自分の支店の取引先からできるだけ多くの増資引き受けを頂くための依頼と交渉でした。着任3か月でオーナーとの人間関係もまだまだ構築できていませんでしたが、お願いに上がる先と金額を早急に固めねばならず、かつて経験したことのないプレッシャーを受けながら、最終的には20社弱から十数億の増資引き受けのコミットを頂きました。

この過程で学んだ様々なことがその後7年ほど続く、支店長職務に資することになりました。金貸しがお金を貸してくださいとお願いに回っているようなもので、立場が完璧に逆転したことにより、お客様が銀行に融資の依頼に来る時の緊張感や期待感を感じることができ、その後の支店長時代の数ある融資案件の判断において、頭の片隅からなくなることはなく、例え満足の行く回答が出来ないときも、相手の気持ちに思いを致しながら対応してきたこともあり、多くのオーナーと離職後も人間関係を継続できています。大変な苦勞でしたが、人間的に成長できた体験であり、増資を引き受けてくださったオーナーには今でも足を向けて寝られないとの気持ちです。

その後、東京都の板橋区にある成増支店長へ異動しました。取引先オーナーとの親密な関係構築に加え、数多くの新規取引を開始することができ、その当時は100名以上の社員がいる大型の郊外店でしたが、3年間の在任中、支店の業績は上がる一方で、極めて良好な支店経営を持続することができました。

3年間の成増勤務後、港区の赤坂支店長に異動、赤坂支店は、大型都心店のうちの1つであり、取引先はヤマサ醤油を上回る業歴を持つ、羊羹の「虎屋」(500年)に代表される老舗企業群、プラダ・ブルガリ・フェラガモと

いった外資系を中心とした一流ブランド企業群、TBS系列を中心とした番組制作プロダクション企業群、売上1兆円企業である日本サムスンなど、多種多様な取引先がありました。華やかな反面、経営の難度が高い支店でした。

最後に、「人生は楽しむためにあるというスペイン人から学んだ考え方、様々な経験を通じて鍛えられた精神力・胆力、迷ったら必ずやる実行力、失敗しても自分に都合よく考える前向き思考」など、海外経験や仕事を通じて会得したことは多かったです。7年半に亘る3か店の支店長在任時に、700名を超える企業のオーナーとお会いし、多くの方と商売のみでないお付き合いをさせて頂いたことにより、発生する事象を多角的な視点からみることや、私の好きな言葉の一つである「人の思い」に対する感性を学んだことは、一生涯の財産となっており今に生きています。ご清聴ありがとうございました。

委員会報告 高橋宏資クラブ研修・情報副委員長



ロータリーの友4月号

[母子の健康月間]

私的観点からの内容紹介

P8からは、日本のロータリアンによるポリオ撲滅活動の取り組みとその重要性についての特集で、臨場感あふれる写真とともに興味深いものになっています。P12の「メーカーアップのすすめ」は、東京RCと大阪RCの現状について書かれています。P41「豊山町子ども会リーダーシップ研修」は我々のクラブでも参考になると思います。P40「無料合同相談会」の記事では職業奉仕委員会の主催のようですが、社会奉仕委員会ではないかとの疑問を持ちました。皆さんはどうお考えになりますか？

【出席報告】会員総数42名 出席計算36名

出席:27名 欠席:9名 出席率75.00%

欠席:青野君・木曾君・丸山君・宮内(秀)君・島田君

信太君・富永君・鈴木君・高橋宏明君

【M U】

4/6 春の交通安全運動出発式(参加10名)

石毛充君・金島君

神津君・小林君

宮内(秀)君・松本君

大里君・櫻井(公)君

副島君・寺内君



【ニコニコ】

ニコニコ BOX	¥ 16,000	計	¥499,250
スモールコイン	¥ —	計	¥ 42,386
米山 BOX	¥ 2,550	計	¥ 43,929
希望の風	¥ 25,100	計	¥260,301

次週のプログラム (4月18日)

「母子保健事業について」

銚子市役所 健康づくり課

保健師 山田 紀美代様

お弁当:大新(幕の内)